

# SEKISUI

## エスロン<sup>®</sup>

## スイングチャッキバルブ

### 取扱説明書









#### 目次

1. 取扱い上の注意	1
2. 各部の名称	2
3. 設置方法	4
4. 操作方法	5
5. トラブルシューティング	6





積水化学工業株式会社

## 1. 取扱い上のご注意





### 1. 1 設置場所について

-  バルブに曲げ、引っ張り、衝撃などの外力が加わらないように取り付けてください。  
(動作不良、漏れの原因になります)
-  仕様外の周囲温度または極端に高い湿度では使用しないでください。
-  直射日光の当たる屋外への設置は避けてください。
-  腐食性雰囲気を設置する場合は通気を良くしてください。
-  極端に温度の高い所や湿度の高い所には設置しないでください。
-  使用条件により凍結するおそれがある場合は、保温その他の方法で凍結防止を行ってください。

### 1. 2 使用上の注意について

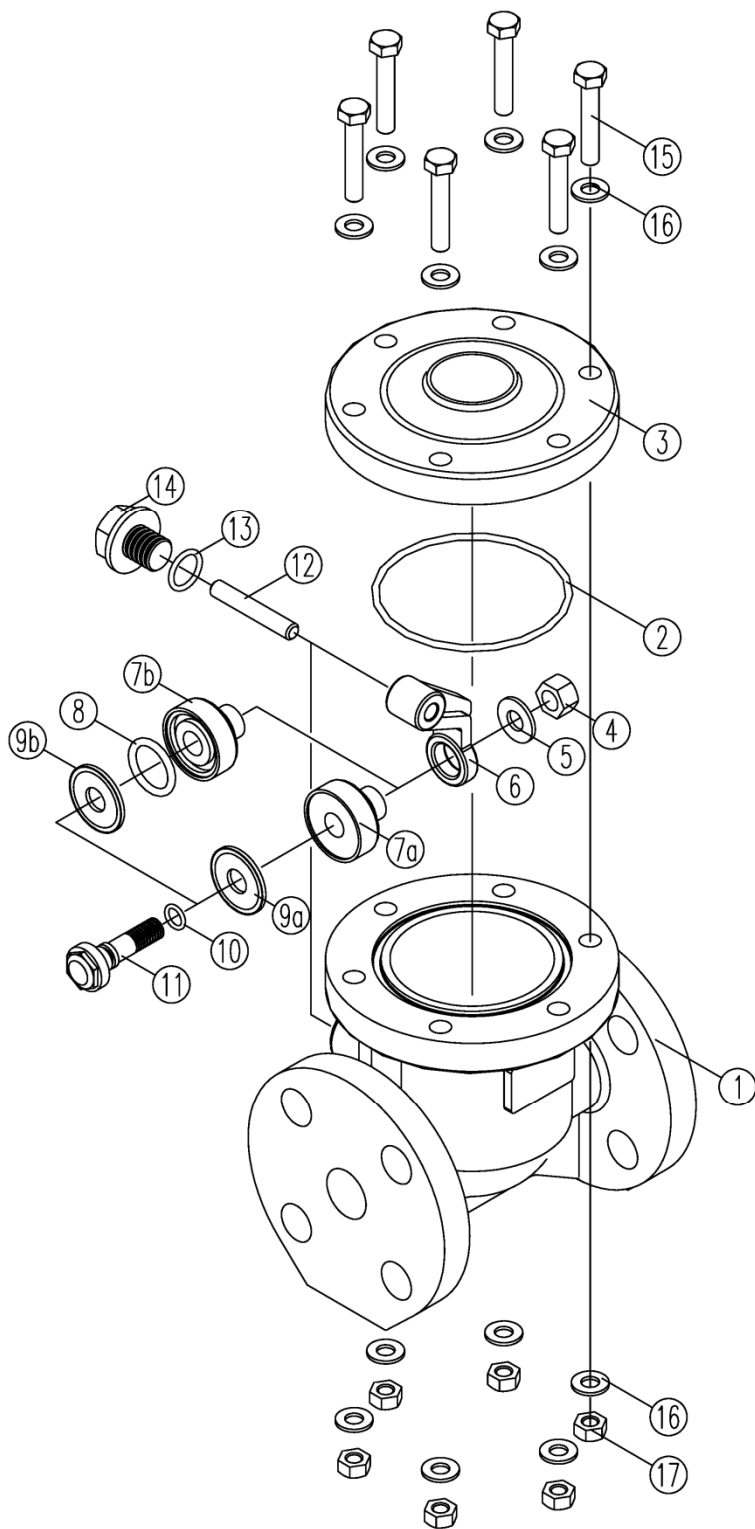
-  流体温度、圧力は仕様の範囲内で使用してください。
-  スラリーを含んだ流体の使用は避けてください。  
(使用すると部品の摩耗や細かい粒子の噛込み等動作不良の原因となります)
-  結晶性の流体の使用は避けてください。  
(使用すると部品の摩耗や細かい粒子の噛込み等動作不良原因となります)
-  圧縮気体、気体混じりの流体での使用は避けてください。  
(使用すると配管の破損、破裂の原因となり、重大または死亡事故が発生する場合があります)

### 1. 3 保管・運送上の注意

-  バルブは丁寧に取り扱い、誤って落としたり、投げ下ろしたりしないでください。  
硬質塩化ビニル製品は強い衝撃をあたえると性能に悪影響をおこすことがありますのでご注意ください。
-  呼び径の大きいバルブは重いので、二人で慎重に積み降ろしや運搬をしてください。
-  長期間保管する場合は、梱包のまま整理し、荷崩れのないように保管してください。
-  保管は雨水等のかからない、湿気の少ない所で保管してください。

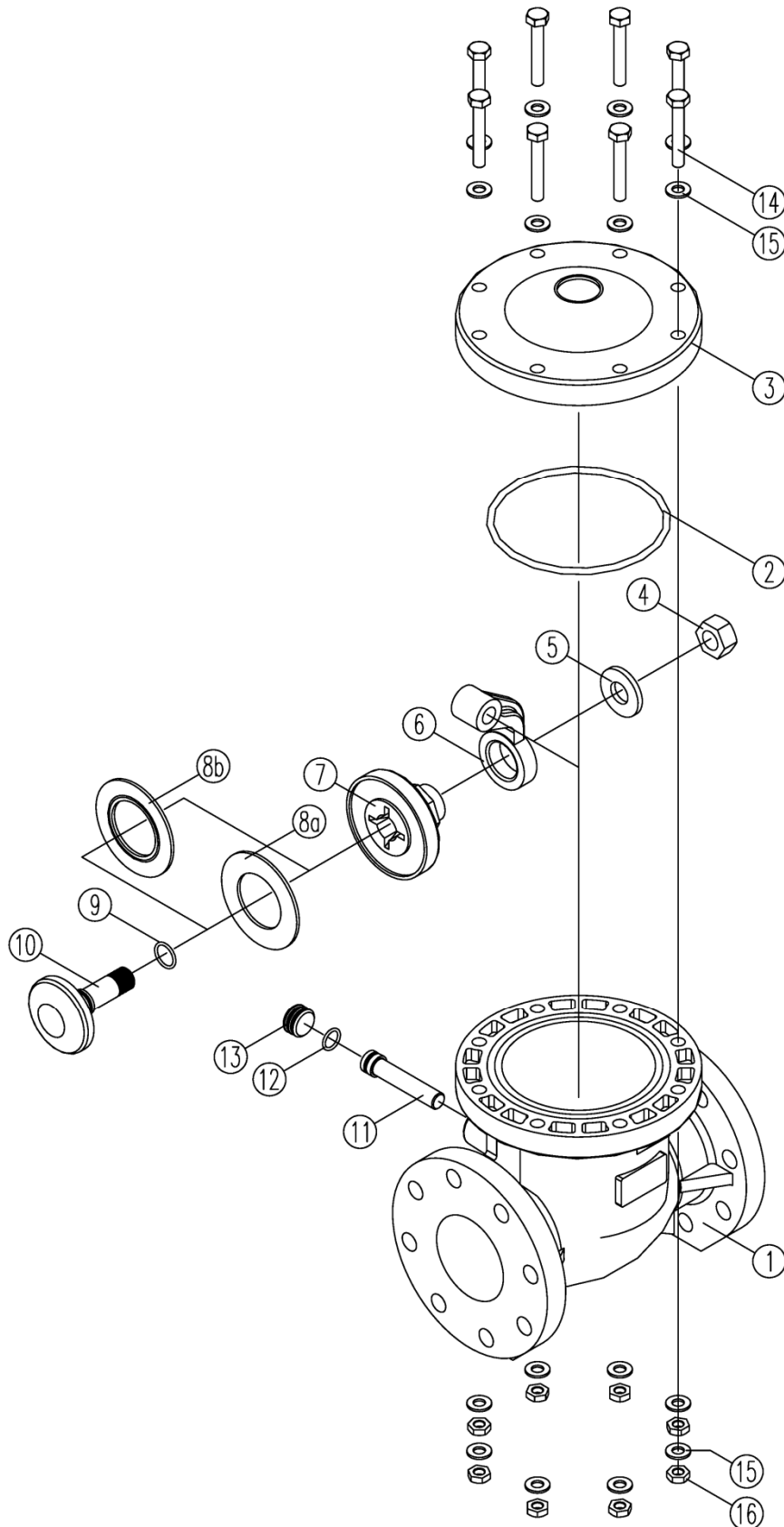
2. 各部の名称

スイングチャッキ 15~25A



1	本体
2	Oリング
3	蓋
4	六角ナット
5	ワッシャ
6	アーム
7a	弁体 (EPDM用)
7b	弁体 (PTFE用)
8	Oリング
9a	パッキン (EPDM)
9b	パッキン (PTFE)
10	Oリング
11	パッキン押さえ
12	シャフト
13	Oリング
14	止めボルト
15	六角ボルト
16	六ワッシャ
17	六角ナット

スイングチャッキ 40~200A



1	本体
2	Oリング
3	蓋
4	六角ナット
5	ワッシャ
6	アーム
7	弁体
8a	パッキン (EPDM)
8b	パッキン (PTFE)
9	Oリング
10	パッキン押さえ
11	シャフト
12	Oリング
13	プラグ
14	六角ボルト
15	ワッシャ
16	六角ナット

### 3. 製品仕様

サイズ	15 / 20 / 25 / 32 / 40 / 50 / 65 / 80 / 100 / 125 / 150 / 200A	
材質	本体	PVC / PP / PVDF
	パッキン	EPDM / PTFE ( ※PVDF:PTFE )
	リング	EPDM / FKM ( ※PVDF:FKM )
使用温度	PVC:0~50°C / PP:0~80°C / PVDF:0~100°C	
常温の最高許容圧力	15~80A:1.0MPa、100~150A:0.7MPa、200A:0.5MPa	

#### 温度別最高許容圧力

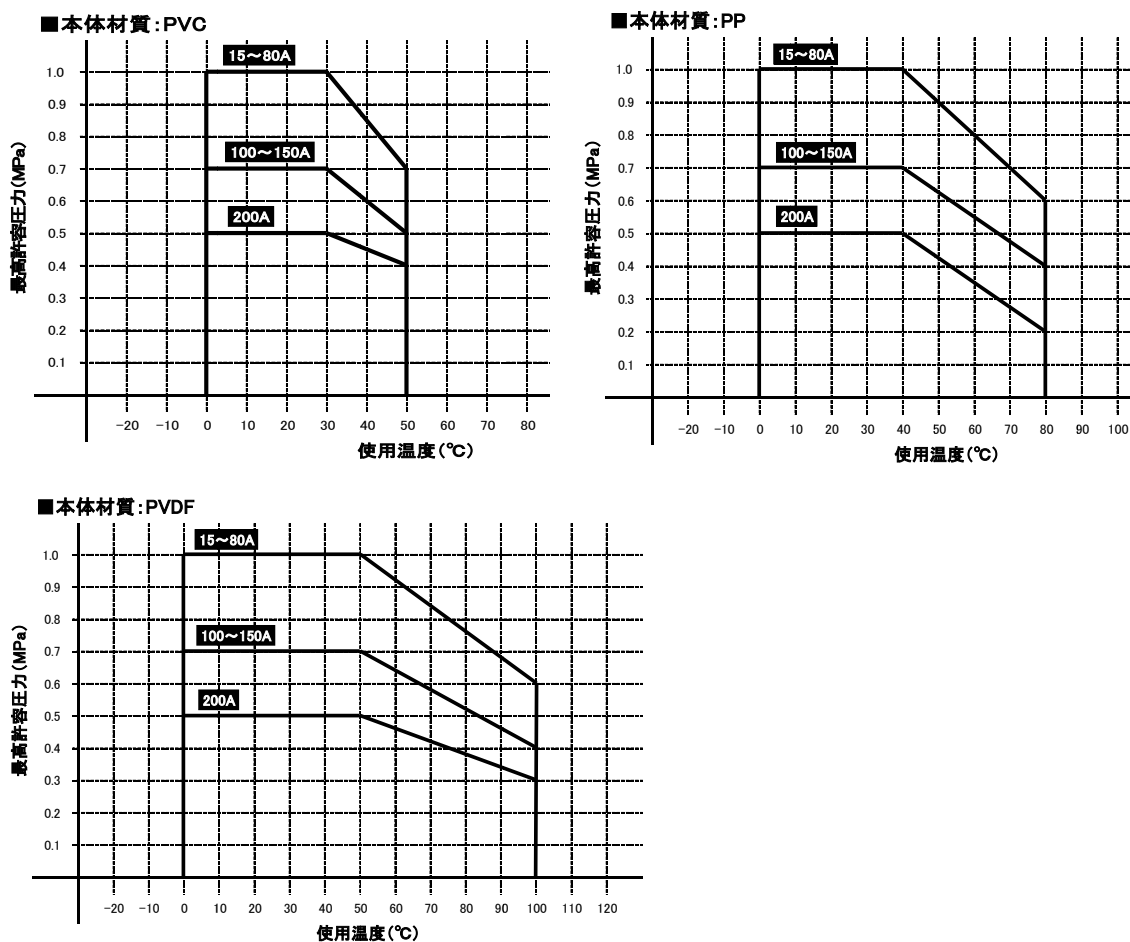


図-1 使用温度と最高許容圧力の関係

#### 最小動作圧力(ガスケット:EPDM、PTFE)」

サイズ (呼び径)		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200
垂直配管	最小通過圧力	10 kPa											
	最小逆止圧力	EPDM		30 kPa								40 kPa	
水平配管	最小通過圧力	10 kPa											
	最小逆止圧力	EPDM		30 kPa				40 kPa				50 kPa	
		PTFE		200 kPa									

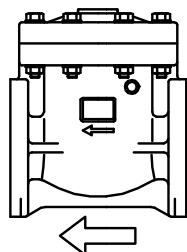
※上記の数値は若干のバラつきを含みます

## 4. 設置方法

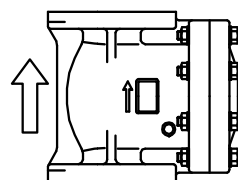
### 4.1 設置方向

スイングチャッキバルブには流れ方向があります(本体に流れ方向矢印が刻印されています)。流体の流れ方向と本体の矢印の向きを合わせて設置して下さい。

**⚠** 動作不良により逆止出来ないため、水平配管では蓋が鉛直上向きになるように、縦配管(垂直方向)では、流体の流れ方向が下から上になるように設置して下さい。



水平配管の場合



縦配管(垂直方向)の場合

### 4.2 仕様部材・工具

- ・エスロンパッキン、ボルト、ナット、ワッシャ
- ・トルクレンチ

表-1 フランジ接続用ボルト

呼び径(A)	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200
ボルト径	M12	M12	M16	M16	M16	M16	M16	M16	M16	M20	M20	M20
首下長さ	50	50	55	60	60	70	75	75	75	80	85	90

**⚠** ボルトは適切なものを使用しないとボルトの先端がバルブの本体に当たり、短いと初期ねじ込みができませんので表-1 のものを使用してください。

### 4.3 作業手順

**⚠** 座付き金属フランジ(LP 管含む)では使用しないでください。

- 1) 前後のフランジ面は平行か、管軸は合っているかを確認します。
- 2) バルブのフランジと接続側フランジの間にエスロンパッキンを入れます。

**⚠** フランジ面間はバルブ、パッキンを入れた状態で隙間が無いようにしてからボルトを締めてください。

- 3) 接続側フランジからボルト、ワッシャを入れます。
- 4) バルブのフランジ側にワッシャ、ナットを入れ、仮締めします。
- 5) 管軸とバルブの芯が合っていることを確認します。
- 6) トルクレンチを使用し、ボルトを対角線上に順番に締め付けます(図-2 参照)。

**⚠** 片締めとにならないように均等に締め付けてください。  
(4~5回に分けて徐々に締め付け、標準締め付けトルクになるように締めます。)

表-2 標準締め付けトルク(JIS10K の場合)

(単位: N-m)

呼び径(A)	15-20	25-50	65-100	125-200
エスロン EPDM パッキン				
エスロン IIR-X パッキン	15	30	45	55
エスロン FPM パッキン				
エスロン PTFE パッキン	16	34	51	62

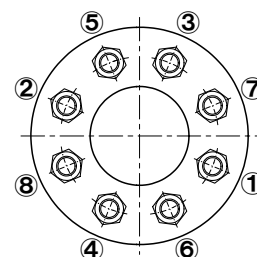


図-2 ボルト締め付け順序

※詳しくは、製品同梱のボルト締め付けトルク表を確認下さい。

5. トラブルシューティング

表-3 トラブルへの対処

現象	原因	処置
バルブが開かない	バルブ内部に異物が付着している	異物を除去する
バルブが完全止水しない	弁体および弁座部に異物が付着している	異物を除去する
	弁体および弁座に傷、磨耗がある	バルブを交換する
	設置方向が間違えている	設置方向を確認して、再設置する
バルブ本体より外漏れする	リング(蓋部)が劣化、破損している	リングを交換する
	締め付けボルトが緩んでいる	締め付けボルトを均等に増し締めする。
	流体の圧力が高い	最高許容圧力の範囲内で使用する
	フランジ部パッキンが損傷している	パッキンを交換する